

公共調達適正化について(平成18年8月25日付財計第2017号)に基づく随意契約に係る情報の公表(物品役務等)

(平成20年8月分)

物品役務等の名称及び数量	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした会計規程等の根拠規程及び理由(企画競争又は公募)	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	備考
平成20年度海面、陸面における水・熱フラックス計測業務(街区・地域の環境・熱エネルギー制御システム)	H20.8.1	グリーンブルー(株) 東京都大田区東糀谷5-4-11	本事業は、5月20日に企画書募集を行い、有効な応募者は1者であった。請負業者選定委員会において企画書の内容を審査した結果、グリーンブルー(株)は、本業務に関する理解度、本観測業務の個別・具体的提案において優れ、また過去に多くの類似業務実績等を持つ点が高く評価され、契約候補者として相応しいものと判断された。このため、グリーンブルー(株)を本業務の相手方として選定し、随意契約を行うものである。 (会計規程第36条第1項第1号)	-	1,999,200	-	-	企画競争
熱処理プラントの保守点検業務	H20.8.4	(有)広寿産業エヌ設計 大阪府箕面市牧落5-19-10-708	本選業者は、当該設備の開発・製作を行った者であり、本業務の高度かつ特殊な性質から、本業務を的確に行うことのできる唯一の相手方であるため随意契約を行うものである。 (会計規程第36条第1項第1号)	-	3,284,400	-	-	
平成20年度資源・廃棄物管理のためのマテリアルフローデータの整備および分析に関する業務	H20.8.8	(株)三菱総合研究所 東京都千代田区大手町2-3-6	本業務は、平成20年8月7日に一般競争入札を実施したが、再度の入札に付しても落札者がなかったものであるが、再度の入札公告を行っているのは研究計画に支障を来すこと、最低入札額と当研究所の予定価格の乖離が少ないことから不落随契を行うものである。 (契約事務取扱細則第29条第2項)	-	8,295,000	-	-	不落随契 (総合評価 落札方式)
小型エアゾール-VOC複合センサの試作・評価	H20.8.8	(株)神栄 兵庫県神戸市中央区京町77-1	本業務は、H19年度まで行われた委託業務の第2ステージ(5カ年計画)であり、これまでの研究成果を適応する事が要請される。第1ステージにて開発を行ったセンサの改良および、複合センサとして新規センサの開発を行うものである。研究の継続性の観点から、本選業者が唯一の相手方である。また、昨年までの成果物については本選業者が知的財産権を有しているため他社が本業務を引き継ぐのは不可能であることから随意契約を行う者である。	-	1,993,950	-	-	
メタン漏洩検知検証のための実験準備と予備実験実施	H20.8.8	(株)日鉄技術情報センター 東京地千代田区麴町1-6	本業務は環境省からの請負事業の一環として行われるものであり、本選業者は、米国・カナダ・ロシア等天然ガス生産・輸送についての調査及びロシア等におけるメタン漏洩調査策定などに熟知していることを理由として環境省より契約相手方を定められているものであり、唯一の契約相手方であるため随意契約とする。	-	30,000,000	-	-	
LCMSMS(4000QTRAP)修理	H20.8.13	(株)三洋 茨城県つくば市大曾根道陸神2708-1	本業務は、環境試料タイムカプセル棟に設置されている液体クロマトグラフ・タンデム質量分析計(LCMSMS)の真空ポンプ等修理であるが、研究業務遂行上入札手続きを行ってからは重大な支障が生じ、また本装置に通曉したものでなければ真空ポンプ単独の故障であるか装置全体の故障であるか判断することはできないため、本装置の製造元であるアプライドバイオシステムズ株式会社のつくば地区代理店である(株)三洋と随意契約を行うものである。 (会計規定第36条第1項第1号及び第2号)	-	1,328,250	-	-	

物品役務等の名称及び数量	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした会計規程等の根拠規程及び理由(企画競争又は公募)	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	備考
平成20年度デジタル分光計による広帯域高分解能ミリ波オゾンスpekトルの高度分布解析法とその精度評価に関する研究委託業務	H20.8.1	名古屋大学 愛知県名古屋市千種区不老町	本事業は、北海道陸別町の町立天体観測施設で実施する、成層圏オゾンに係る観測研究の一部である。当該観測研究は、当該観測分野における名古屋大学の知見と実績を基に、適切な協力を得ながら、共同で実施しており、引き続き安定した観測研究を継続するためには、本機関の協力を得ながら実施することが不可欠であり、本事業の実施において、最も適切な相手方と判断されるため、随意契約を行うものである。(独立行政法人国立環境研究所契約事務取扱細則第29条第1項第9号)	-	1,500,000	-	-	
平成20年度絶滅危惧鳥類を用いた病原体感染リスクの評価に関する研究委託業務	H20.8.1	酪農学園大学 北海道江別市文京台緑町582	本事業は、環境省からの委託事業であり、再委託先の研究課題及び研究機関が決定されているため。	-	5,000,000	-	-	
平成20年度グローバルな森林炭素監視システムの開発に関する研究委託業務	H20.8.6	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 東京都調布市深大寺東7-44-1	本事業は、環境省からの委託事業であり、再委託先の研究課題及び研究機関が決定されているため。	-	7,000,000	-	-	

※公表対象契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価または予定調達総額を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約金額欄に単価を記載した場合には予定調達総額を記載する。